

7回	看護教育学の理解②〔発表・討議〕－【同上】『看護教育学』：第3章・第4章（野本百合子・北川恵）
8回	看護教育学の理解③〔発表・討議〕－【同上】『看護教育学』：第5章・第6章（野本百合子・北川恵）
9回	看護教育学の理解④〔発表・討議〕－【同上】『看護教育学』：第7章・文献講読のまとめ（野本百合子・北川恵）
10回	効果的な看護学教育の展開〔講義〕－教育実践への看護教育学の知識の活用（野本百合子）
11回	看護学教育の現状分析と効果的な教育①〔発表・討議〕－学習内容に基づく実践の振り返りと評価（野本百合子・北川恵）
12回	看護学教育の現状分析と効果的な教育②〔発表・討議〕－教育の現状改善のための検討・提案（野本百合子・北川恵）
13回	看護技術教育とその評価方法〔講義〕（北川恵・野本百合子）
14回	e-Learningと教材開発〔講義〕（徳永なみじ・野本百合子・北川恵）
15回	看護教育学の知識に基づく教育実践のまとめ〔講義・討議〕－効果的な教育の展開に向けて（野本百合子・北川恵）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

発表課題レポート（60%）、プレゼンテーション・質疑への応答（40%）で評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・J. Bruner著、鈴木 祥蔵他訳：教育の過程、岩波オンデマンドブックス ・杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学（第7版）、医学書院
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・梶田叡一：教育評価 第2版補訂2版、有斐閣双書 ・西岡 加名恵、石井 英真、田中 耕治：新しい教育評価入門〔増補版〕：人を育てる評価のために、有斐閣コンパクト ・糸賀 暢子、元田 貴子、西岡 加名恵：看護教育のためのパフォーマンス評価：ルーブリック作成からカリキュラム設計へ、医学書院 ・Donald A. Schon著、佐藤学他訳：専門家の知恵－反省的実践家は行為しながら考える、ゆみる出版

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

文献講読については、受講生間で相談して担当部分を決定の上、担当箇所の内容をまとめて事前レポートを提出し、授業時にプレゼンテーション・質疑への応答を実施する。そのため、事前に指定文献の担当箇所を精読してレポートを作成、提出するための時間を要する。また、必要に応じて、担当箇所の内容を理解するための追加文献を確認し、精読する必要がある。

関連科目

前科目	M103	生涯教育学特論						
後科目	M206	看護教育学特論Ⅱ	M208	看護教育学・技術学	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ

実務家教員

看護師（医療機関）	野本 百合子	北川 恵	徳永 なみじ			

備考	<p>※基盤看護分野を専攻とする学生には、必修科目。</p> <p>関連科目「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」は、主に基盤看護分野を専攻する学生を対象とする。</p> <p>※当該科目は、「教育に関する科目」に該当するため「看護教育学特論Ⅱ」と合わせて履修することにより、看護専門学校の教員資格を取得可能</p>
----	--